

労働市場の概要（令和5年7月）

岡山労働局 職業安定課
TEL 086-801-5103

雇用情勢

令和5年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.54倍となり、前月と比べ0.03ポイント低下した。前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は1.1%減少し、有効求職者数(季節調整値)は0.3%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(4.0%増)、卸売業・小売業(11.7%増)で増加したが、製造業(8.1%減)、運輸業・郵便業(14.5%減)、宿泊業・飲食サービス業(22.0%減)、医療・福祉(5.6%減)、サービス業(他に分類されないもの)(10.7%減)で減少したことから、全体では前年同月比で4.6%減となり、2か月連続に減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で0.4%増となり、2か月ぶりに増加した。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は1.54倍となり、前月と比べ0.03ポイント低下した。

(1) 有効求人(パートを含む)

- 7月の有効求人数は44,698人で、前年同月比(原数値比較)で1.2%減少し、前月比(季節調整値比較)では1.1%減少した。
- 前年同月比(原数値比較)で2か月ぶりの減少となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

- 7月の有効求職者数は29,948人で、前年同月比(原数値比較)で1.9%減少し、前月比(季節調整値比較)では0.3%増加した。
- 前年同月比(原数値比較)で12か月連続の減少となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は1.25倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.51倍となり、前月に比べ0.14ポイント低下した。

(1) 新規求人(パートを含む)

- 7月の新規求人数は15,507人で、前年同月比(原数値比較)で4.6%減少した。
- 前年同月比(原数値比較)で2か月連続の減少となった。
- 産業別新規求人状況(前年同月比)は、

建設業	4.0%の増加	(2か月ぶりの増加)
製造業	8.1%の減少	(2か月連続の減少)
運輸業・郵便業	14.5%の減少	(2か月連続の減少)
卸売業・小売業	11.7%の増加	(6か月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	22.0%の減少	(2か月連続の減少)
医療・福祉	5.6%の減少	(2か月連続の減少)
サービス業	10.7%の減少	(2か月連続の減少)

(他に分類されないもの)

(2) 新規求職(パートを含む)

- 7月の新規求職者数は5,842人で、前年同月比(原数値比較)で0.4%増加した。
- 前年同月比(原数値比較)で2か月ぶりの増加となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は602,208人で前年同月比で0.4%の減少となり、29か月連続で減少した。また、受給者実人員(基本分)は6,967人で、前年同月比で2.9%の増加となり、受給率は1.1%となった。